

科目名	母性看護学概論	対象学年・時期	1 年・後期
講師	専任教員	単位数・時間数	1 単位・15 時間
授業概要	<p>生物学的女性は、子を体内に宿し、産むことができる唯一の性である。「産む」「産まない」に関わらず、身体は次世代を妊娠・出産するために成熟していき、ある年齢に達するとその機能は衰退していく。その過程で女性特有の身体的・精神的・社会的特徴や健康課題があらわれる。その過程において女性が自らの性の特徴を知り、自身の健康・権利を守り、自己決定し行動できることが重要であり、看護としてそれらを支えている。母性看護は女性の性と生殖を支え、次世代の健全な育成にも関与する看護学である。この科目では、母性看護学の基本となるリプロダクティブヘルス/ライツの考えを理解し、母性看護学に関わる生命倫理や、性とは何か、子が健全な成長発達を遂げるためには何が重要かを学生が思考し、母性看護学の意義や対象理解へつながる力を養う。</p>		
授業形態	講義、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母性看護の対象と意義が理解できる。 2. 性と生殖の健康/権利について考えられる。 3. 性と生殖における多様性について考えられる。 4. 命をめぐる倫理について考えられる。 5. 母性看護の対象を取り巻く環境について理解できる。 6. 次世代の健やかな成長・発達のために何が重要であるか考えられる。 		
授業計画	<p>1 回目：母性看護の世界へようこそ</p> <p>2 回目：各ライフサイクルにおける女性の特徴と健康課題</p> <p>3 回目：性と生殖の健康とは</p> <p>4 回目：性と生殖の権利とは</p> <p>5 回目：性と生殖の多様性と命をめぐる倫理</p> <p>6 回目：母性を取り巻く環境</p> <p>7 回目：次世代の健やかな成長・発達のために 小児・母性合同授業 グループワーク</p> <p>8 回目：次世代の健やかな成長・発達のために (45 分) 小児・母性合同授業 プレゼンテーション</p>		
使用テキスト	ナースিং・グラフィカ 母性看護学① 「概論・リプロダクティブヘルスと看護」第3版 中込さと子他 メディカ出版		
事前・事後学修	解剖生理学や生物学で学習した女性生殖器、月経周期とホルモン、排卵・受精・着床・受精卵の細胞分裂等の知識を開講前に復習してください。事前学修・事後学修はその都度指		

	示します。また、日頃から性や生殖、母子を取り巻く環境について、ニュース等の情報に意識を向けてください。
評価基準および評価方法	筆記試験 50%・課題レポート 50%
備考	女性生殖器とホルモンについてテキストや参考書を用いて十分に学習してください。